

【原稿作成者の思いを伝える】

アークテックコム株式会社で、マニュアル作成と翻訳を行っています。
豊原 信です。



ウェブサイト：
<http://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : m.toyohara@arctecom.jp

意外と手間が掛かる翻訳作業

こんにちは。

今月は、手前味噌になりますが、弊社の翻訳工程のお話です。それと恒例の『勝手応援メッセージ』を紹介します。

原稿チェック工程

お客様から翻訳依頼をいただくと、まず原稿のチェックを行います。大半が日本語原稿ですが、英語原稿の場合もあります。その他の言語の原稿は、年に10本以下で少数です。

チェックの目的は、誤翻訳の防止です。翻訳者による原稿文章の解釈の振れを無くします。翻訳文章の意味が振れるのを抑えます。

確認は、原稿全体の構成とストーリーの内容から見ていきます。同時にイラスト・写真・グラフ等の名称や記号の正誤をチェックします。意外と間違われています。次に、文法の正誤、用語の正誤を確認します。

日本語原稿の場合は、一文一義になっているかどうか、長文で2つ

以上の意味に解釈されないかをチェックします。キーワードが統一使用されているか、作成者の伝えたい思いが、正しく分かりやすく表現されているか等を校正者がクロスチェックします。

原稿のリライト工程

この目的は、翻訳者による原稿文章の解釈の振れを無くすことです。先の原稿チェック工程と同時に、リライト作業を行います。

このとき一番注意するのは、作成者の伝えたい思いが、正しく分かりやすく表現されているかどうかです。次に、文法上の間違いを正すことです。

日本語原稿の場合は、一文一義になるようにリライトを行い、助詞や副助詞を修正します。45文字以上の長文は、なるべくそれ以下になるようにリライトします。また商品開発者にしか分からないような専門用語は、一般の方々でも分かる用語や表現に変えます。

翻訳用原稿の作成工程

この目的は、作成者の伝えたい思いが、正しく分かりやすく表現された文章にすることです。

次に、お客様にご協力をお願いして、リライトを行った原稿を校正していただきます。翻訳後の文章の内容のイメージを掴むことができます。

翻訳指示書の作成工程

翻訳者に翻訳箇所を指示する指示書を作成します。

この指示書の精度が翻訳作業の効率に影響してきます。翻訳支援ツールの使い勝手も変わってきます。翻訳文章の品質指示もこの工程に掛かっています。こなれた翻訳文作成要求もここで行います。

翻訳文章の校正

この目的は、上がってきた翻訳文章の品質確認です。通常はダブルチェックと校正者によるクロスチェックを行います。ISO17100に準じた工程を活用すると、さら

にネイティブによるダブルチェックが追加されます。翻訳原稿に対して、公正に翻訳されているか、こなれた文章になっているか、抜け、順番違い、誤記が無いかな等を徹底してチェックします。

翻訳文章の編集工程

この目的は、翻訳資料のスタイルを整え、見やすく読みやすくすることです。最後の仕上げ工程です。

翻訳文章の原稿出し

この目的は、お客様による最終確認です。ここで、お客様の最終的な要望を受け、修正して完成します。

以上のように完璧な翻訳文章を作り上げるには、最低でも7工程を必要とします。

ご参考にしていただければ、ありがたいです。

今月の応援メッセージです。

気持ちを強く、積極的に持ってください。

例えどんなことがあっても、気持ちを強く、積極的に持つのです。気持ちの有り方が、人生を決めます。

人生に起きる出来事で、人生が決まるわけではありません。

起きた出来事をどのように捉えるかで、人生が決まります。

出来事は起きます。色々起きます。本当に、これでもかというくらい起きます。

ラッキーなことも起きます。

そうでないことも起きます。

それでも、人生に起きる出来事で、人生が決まるではありません。起きた出来事をどのように捉えるかで、人生が決まります。

何が起きて、すべてラッキーと捉えるという人がいます。

その人は、本当にすべてラッキーに変えていってしまいます。

そのためにも、気持ちを強く、積極的に持ってください。

例えどんなことがあっても、気持ちを強く、積極的に持つのです。気持ちの有り方が、人生を決めるからです。

さあ、今日も、気持ちを強く、積極的に持って。

何事があっても、ラッキーに変えてください。

あなたならできる。

「気持ちの持ちよう」、「思い」で人生が決まるといいます。

世の東西を問わず、過去と現在の賢人の方々は言われます。

何故か良い結果に結びつかないと悩むときは、「気持ちの持ちよう」、「思い」に私心が入っていないかどうかチェックしてみてください。あの西郷隆盛は「無私」

の心です。西郷さんを慕う稲盛和夫氏は「利他の心」です。どちらも【考え方】です。

京セラ創業者の稲盛和夫氏が教えられている次の公式に当てはまりますね。

【人生の成果／仕事の成果】＝
【考え方】×【熱意】×【能力】

【考え方】は-100～+100

【熱意】【能力】は0～+100

豊原 信